

北京大学藏秦漢簡牘学術研討会

2024年6月26日-27日 | 使用言語：中国語 | 入場無料・来客歓迎

講演（通訳あり）

6月26日午前 10:00～（早稲田大学小野梓記念講堂）

朱鳳瀚（北京大学歴史学系教授）「北京大学藏秦漢簡牘の独特価値」

黎婉欣（北京大学考古文博学院副教授）「我々怎樣作北大秦漢簡牘展覽」

学術報告

6月26日午後 14:00～（戸山キャンパス 33号館第1会議室）

韓巍（北京大学歴史学系長聘副教授）「北大秦漢“卷四”書写和使用形態の再考察」

柿沼陽平（早稲田大学文学学術院教授）「北大秦漢「從政之経」の排列問題」

陳侃理（北京大学歴史学系長聘副教授）「秦漢時期建除十二名の差異与定型」

名和敏光（山梨県立大学准教授）「北大簡の術数簡について」

6月27日午前 10:00～（戸山キャンパス 33号館第1会議室）

森和（杏林大学外国語学部准教授）「北京大学藏秦漢簡牘における祝禱術について」

邵永海（北京大学中国語言文学系教授）「北大漢簡の聯綿字」

野原将揮（京都大学人文科学研究所准教授）「北大秦漢与上古音：以通假字為例」

6月27日午後 14:00～（戸山キャンパス 33号館第1会議室）

田天（北京大学考古文博学院副教授）「略論秦漢病方類文本の発展」

楊博（北京大学出土文献与古代文明研究所兼職研究員・中国社会科学院古代史研究所副研究員）「北京大学藏秦漢簡牘与秦人の凶書整理」

海老根量介（学習院大学文学部准教授）「關於北大秦漢《教女》の幾点新認識」

劉麗（北京大学出土文献与古代文明研究所兼職研究員・中国社会科学院古代史研究所副研究員）「海昏政論・詩賦類殘簡初識」

王景創（北京大学出土文献与古代文明研究所館員）「北大漢簡《日書》の結構・性質与価値」

※北京大学藏秦漢簡牘パネル展示会（2024年6月26-27日 9:30-17:00、無料）も併設されています。

※6月26日夕方に懇親会を予定しています。上記発表題目は変更される可能性があります。

※お問い合わせは柿沼陽平（yohey@waseda.jp）まで。